

# 令和7年度 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会 提言活動

令和7年10月17日(金)に「四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会」(発起人代表:濱田省司高知県知事)が、国土交通省の塩見国土交通審議官、沓掛道路局長と財務省の山川主計官に「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消や暫定2車線区間の4車線化、物価高騰等で疲弊した地域経済の復興及び国土強靭化のための予算・財源の確保等について提言を行いました。

## ■提言項目

- 一、地方創生2.0により強い地方経済を創出し、日本全体の経済の活力を取り戻していくため、国内投資拡大や生産性向上につながる高規格道路の整備など、幹線道路ネットワークの機能強化を図ること
- 一、国土強靭化実施中期計画を踏まえた関係予算については、能登半島地震や八潮市の事故を教訓とした自然災害への対応や老朽化対策、急激な資材価格・人件費高騰等の影響を適切に反映し、予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること
- 一、「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消に向け、事業中箇所の整備を促進するとともに、開通時期を早期に提示すること
- 一、計画段階評価の完了区間を早期に事業化するとともに、実施中区間の計画段階評価を早期に完了させること
- 一、有料の高速道路について、料金徴収期間の延長による財源を活用し、更新事業等や耐震補強、暫定2車線区間の4車線化などの機能強化を着実に進めること。また、四車線化が行われるまでの緊急安全対策を推進すること
- 一、高速道路の更なる利活用を促進し、カーボンニュートラルの推進やドライバー不足への対応の観点から、ピンポイント渋滞対策の実施及びスマートICの整備、ETC専用化、休憩施設の機能強化等を推進すること

## ■提言概要

### ●濱田高知県知事

- ・四国8の字ネットワークの早期整備は、経済対策・防災対策の両面から重要。
- ・国土強靭化実施中期計画の初年度となるので、物価高騰等の影響を踏まえた予算の確保をお願いする。
- ・暫定2車線区間での事故が多くなっており、早期4車線化及び緊急安全対策をお願いする。
- ・四国8の字ネットワークの整備により、救急搬送の時間が短縮し、患者の生存率が向上するほか、特産物の販路が拡大することで、産業の活性化が期待される。

### ●長井四国経済連合会会长

- ・四国は魅力的な観光資源が多くあるが、他地域と比べ宿泊者が少なく、ミッシングリンク区間を多く抱える徳島県と高知県ではその傾向が顕著。
- ・地域資源を最大限活用し四国創成を実現させるためには、ミッシングリンクを解消し、アクセス面を向上させる必要がある。

### ●愛媛県知事代理 中川参与

- ・愛媛県内には、3つのミッシングリンクが残っており、早期解消が喫緊の課題。
- ・いずれも大規模災害時等の「命の道」であり、四国8の字ネットワークを活用した新たな広域交流・連携を強める重要な道路であり、ミッシングリンクの早期解消をお願いする。

### ●徳島県知事代理 大西東京本部長

- ・徳島県南部の幹線道路は国道55号のみであり、沿岸部は津波により広範囲が浸水する想定。
- ・阿南安芸自動車道「美波・海部間」は四国で唯一の未事業化区間であり、早期事業化が急務。
- ・徳島県では「徳島バッテリーバレイ構想」を推進しており、高規格道路を直結するアクセス道路整備など、物流ネットワークの強化によるストック効果の最大化に向けて取り組んでいる。

### ●香川県知事代理 平池東京事務所長

- ・香川県では全線4車線化により、高松自動車道、瀬戸中央自動車道ともGW期間の大型車の交通が増加しているほか、高松港のコンテナ貨物量も大きく増加している。
- ・四国のストック効果を最大限発揮するため、四国8の字ネットワークの早期整備をお願いする。

## ■国土交通省 塩見英之 国土交通審議官からの回答



▲左から、平池香川県東京事務所長、長井四国経済連合会会長、  
塩見国土交通審議官、濱田高知県知事、中川愛媛県参与、  
大西徳島県東京本部長

- ・地域の熱い想いを届けていただき感謝。これから予算編成にあたり、財政当局に自信を持って説明できる。

- ・既に着手している事業については、予算を確保できれば、事業を推進できる。国土強靭化実施中期計画が新しくできたので、初年度にしっかりと予算が確保できるよう努める。

- ・能登半島地震の経験から、道路がないと復旧・復興が滞るということが如実にわかったので、同じ状況にならないよう対策が必要であることや物価高騰等により実質の事業量が目減りしないようにすることなどを訴え、予算を確保する必要がある。

## ■国土交通省 杏掛敏夫 道路局長からの回答



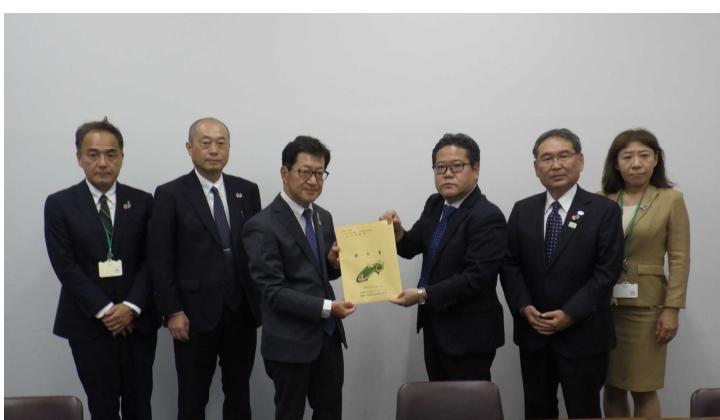
▲左から、平池香川県東京事務所長、長井四国経済連合会会長、  
杏掛道路局長、濱田高知県知事、中川愛媛県参与、  
大西徳島県東京本部長

- ・8の字については、徳島県で事業化されていない区間が残っているが、そういうところも含め、8の字の早く完成するよう努める。

- ・暫定2車線区間では、四国内で事故が相次いでおり、このことを契機にトンネルや長大橋梁区間で試行中の区画柵を増やしていく。

- ・根本的な解決は4車線化であり、こちらも進められるよう、国土強靭化実施中期計画の初年度に予算をしっかりと確保し、次年度以降に繋げていきたい。

## ■財務省 山川清徳 主計官からの回答



▲左から、平池香川県東京事務所長、中川愛媛県参与、  
濱田高知県知事、山川主計官、長井四国経済連合会会長、  
大西徳島県東京本部長

- ・四国8の字ネットワークの重要性は理解したが、現在、日本の財政は非常に厳しい状況にある。

- ・連日話題になっているガソリン税の暫定税率廃止の件についても、今後どうなるか見えない状況ではあるが、四国8の字ネットワークのような大きな事業は中長期的に予算を確保するための財源が必要であり、自治体の方々の力も借りながら、財源についての理解を訴えてていきたい。

**四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会  
(発起人:徳島県・愛媛県・香川県・高知県・四国経済連合会)**

